

平成18年度当初予算

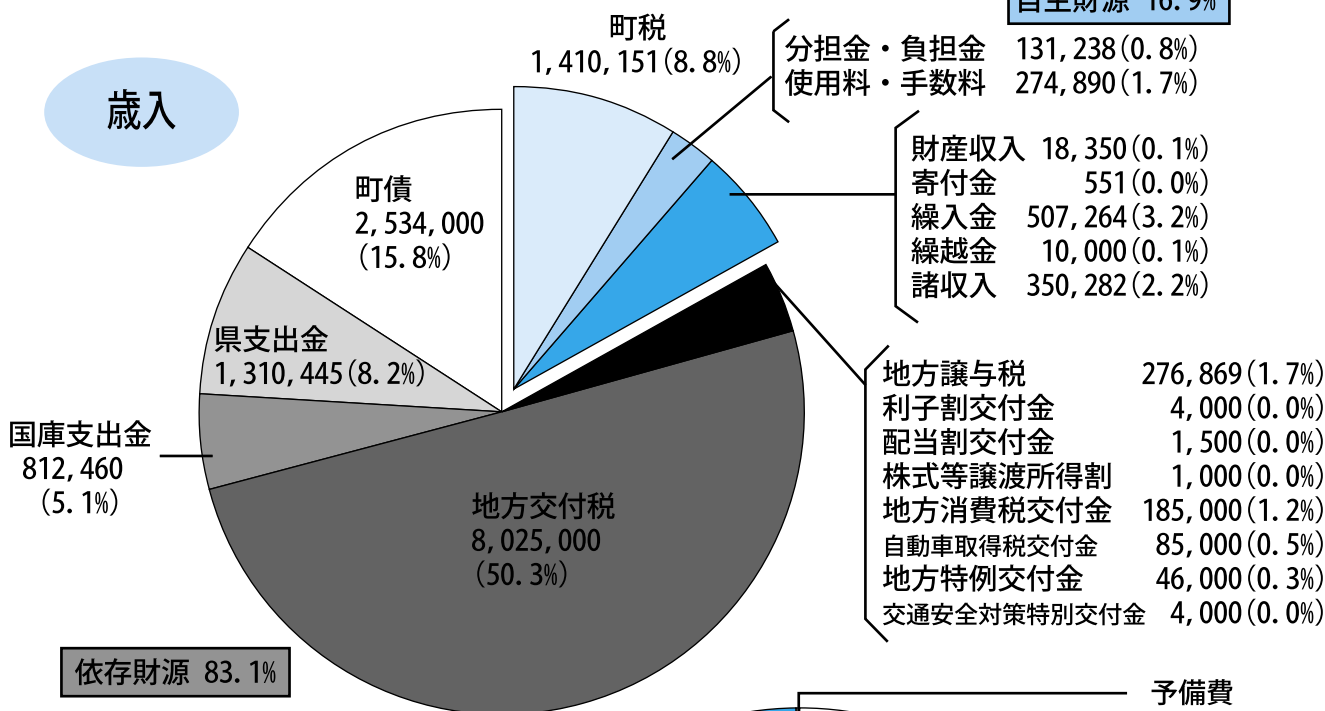
平成18年度の一般会計と特別会計の当初予算が去る3月22日の定例町議会で議決されました。

合併後2年目を迎えた平成18年度当初予算は、新しい周防大島町の礎を構築する予算と位置付け、事務事業全般について必要性、緊急性の観点から総点検を行い、コスト意識と効率的な実施手法の徹底を図り、行財政改革を着実に進められた財源の有効活用に努めると共に、歳入の確保対策にも配慮し、『元気にここ 安心して 21世紀にはばたく先進の島』作りをめざす予算編成を行いました。

国の三位一体改革及び国勢調査による周防大島町の人口の減により財源の約53%を占める地方交付税等（臨時財政対策債含む）は合併した平成16年度から平成18年度予算の間に、7億7,300万円の減額が見込まれ、今後においても更なる減額も予想されます。平成18年度当初予算編成における財源不足は財政調整基金（4億6,168万7千円）減債基金（4,557万7千円）を取り崩して補っております。（基金の状況は別表1による。）中期財政計画（別表2）によると、平成20年度までに約9億円の財源不足が見込まれ基金も枯渇状態が予想されます。今後徹底した行財政改革を行い財源の確保が必要となっています。

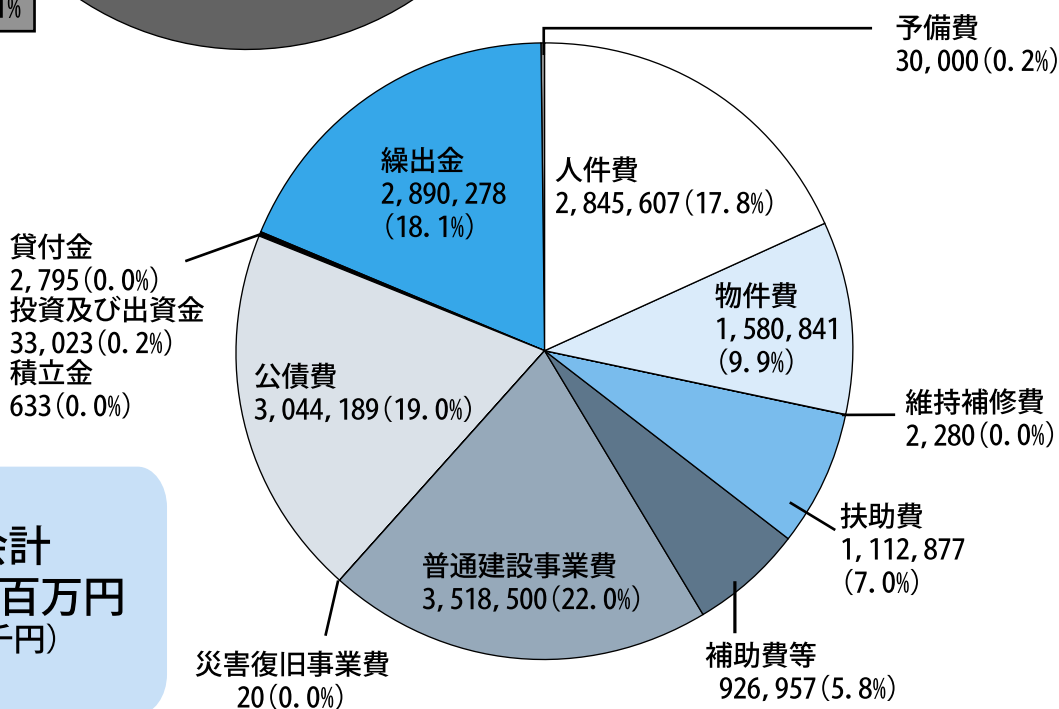
自主財源 16.9%

歳入



依存財源 83.1%

歳出



一般会計
159億8千8百万円
(単位：千円)